

令和7年度シラバス

23 新潟県立西新発田高等学校

科目	家庭基礎	単位数	2	単位	履修年次	1	年次～
使用教科書	図説家庭基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

1 学習の目標

人の一生と家族・家庭、福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むための基礎的な知識と技術を習得させる。男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育てる。

2 指導の重点

①生徒の興味・関心を引き出すための教材の有効活用、及び実習を多く取り入れ、基礎的、基本的な知識と技術を身につけさせる。

②基本的な生活力を育成するため、身近な事例を取り上げ、自分事として考える力を身につけさせる。

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	教科書 授業プリント	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義を理解する。	1	取組状況 課題レポート 提出物 定期考査
	第1章 自分らしい生き方と家族	資料 DVD	・各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ・家族・家庭の意義、社会とのつながりを考え、自分の将来像を表現する。	10	
	第2章 子どもとかかわる		・乳幼児の心身の発達と生活や保育者の役割について理解する。 ・子どもの保育環境について考える。	10	
	第3章 高齢者とかかわる		・高齢者の心身の特徴を理解する。 ・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢者を支える制度と課題について考える。	6	
	第4章 社会とかかわる		・個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉制度についての重要性を理解する。	5	
	ホームプロジェクト		・自分や家族の生活課題を見つけ、解決方法を考え実践する。	1	

後期	ホームプロジェクトの発表	教科書 資料集	・各自のホームプロジェクトを発表する。	1	取組状況 課題レポート 提出物 実技作品 定期考査
	第5章 食生活をつくる	授業プリント	・食生活を振り返るとともに、健康な生活を営むために必要な栄養素について学習する。 ・自分で日常食を調理できる技術を身につける。	10	
	第6章 衣生活をつくる		・衣服の機能、素材と特徴を学び、衣生活の計画を立て実践する。	10	
	第7章 住生活をつくる		・住空間の構成や環境に配慮した住まいについて学び、ライフステージに応じた住生活の計画ができる。 ・住まいの機能、事故や災害について理解し、健康と安全に配慮した住まいの管理方法を知る。	5	
	第8章 経済的に自立する		・ライフイベントや生活のリスクに備えた、生涯を見通した経済計画と管理について理解する。	8	
	第9章 消費行動を考える		・多様化している支払い方法や、悪質商法について理解する。 ・消費生活の課題と環境との関わりを理解し、消費者として責任ある行動ができる。	3	
計			70	(50分授業)	

4 課題・提出物等

授業プリント・課題プリント・製作作品・ホームプロジェクトの課題

5 評価規準と評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの学習を通して、基礎的なことについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【評価】 考査や課題、提出物等の「知識・技能」の得点率が 70%以上・・・A 40%以上・・・B 40%未満・・・C	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて思考を深め実践するなど、課題を解決する力を身につけている。 【評価】 考査や課題・提出物等の「思考・判断・表現」の得点率が 70%以上・・・A 40%以上・・・B 40%未満・・・C	家族・家庭及び福祉 衣食住、消費生活・環境などについて関心を持ち、自分の生活と関連させ、その充実向上を目指して主体的、意欲的に取り組もうとしている。 【評価】 提出物等の内容・課題に取り組む態度が 十分満足できる状況と判断できる・・・A 概ね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C

6 担当者からの一言

将来よりよい家庭生活を送るために必要な知識と基本的な技術を身につけ、自立に向けて意欲的に取り組みましょう。